

## Human Communication

### Collaborative Learning with Aged People

(歯((歯)1年))

Daisuke Hinode · PROFESSOR / INSTITUTE OF HEALTH BIOSCIENCES, Yuko Takeuchi · ASSISTANT PROFESSOR / INSTITUTE OF HEALTH BIOSCIENCES

2 units 後期 木, 集中 5~8, 10/6~12/22

**Target)** 歯科医療系学生における人間力を高めるため、早期から学生自らのコミュニケーション能力を向上させ、ホスピタリティ・マインドを体得し、将来患者と向き合える歯科医療従事者を育てる一助とする。

**Outline)** この授業では、学内講義・演習と学外体験学習(高齢者交流学習)を柱とする。学内講義・施設説明を受けた後、学外の養護老人ホームにおいて高齢者と8回にわたり交流し、教育管理ネットワークシステム(エデュネット)を用いて学習内容を記録・提出する。また、学内演習(中間ふり返り授業・最終ふり返り授業)を行い、体験学習を通して得られた内容について、意見交換する機会を設ける。

**Keyword)** 対人コミュニケーション, 高齢者, ホスピタリティ・マインド

**Goal)**

1. 基本的マナーを守る。
2. コミュニケーション力を養う。
3. ホスピタリティ・マインドをもって対応する。
4. 相手を受容して適切に行動する。

**Schedule)**

1. 授業説明, 講義「生と死, 老いを考える」, 高齢者施設説明
2. 高齢者交流学習 1(学外体験学習)
3. 高齢者交流学習 2(学外体験学習)
4. 高齢者交流学習 3(学外体験学習)
5. 高齢者交流学習 4(学外体験学習)
6. 学内演習(中間ふり返り授業)
7. 高齢者交流学習 5(学外体験学習)
8. 高齢者交流学習 6(学外体験学習)
9. 高齢者交流学習 7(学外体験学習)
10. 高齢者交流学習 8(学外体験学習)
11. 学内演習(最終ふり返り授業)

**Textbook)** 適宜プリントを配布する。

**Evaluation Criteria)** 出席状況(40%)とレポート(60%)によって総合的に評価する。

**Re-evaluation)** 原則として行なわない

**Message)** 人間関係が希薄な現代においては、年齢を超えた人間関係作りや、ヒューマン・コミュニケーション(お互いの考えや気持ちを理解しあうこと)を意図的に学ぶ必要がある。人と関わるには、相手の立場に立って心の有り様を想像し、相手の心に寄り添った行動をすることが大切である。そのための学外体験学習を行う。

**Contents)** <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=221145>

**Contact (Office-Hour, Room, E-mail)**

⇒ Hinode (+81-88-633-7543, [hinode@dent.tokushima-u.ac.jp](mailto:hinode@dent.tokushima-u.ac.jp)) MAIL